



第6期宮前区区民会議 第1回地域福祉部会（仮称）

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成28年8月29日（月）18：00

宮前区役所4階第2会議室

次 第

1 議事（進行 仮部会長：青柳副委員長）

- (1) 出席確認
- (2) 地域福祉部会（仮称）での審議の進め方
- (3) 部会長の互選
- (4) 部会テーマの絞り込みに向けた審議

2 その他の連絡事項

今後の日程

- (1) 第1回地域活性部会 8月30日（火） 18時 第2会議室
- (2) 第2回地域活性部会 9月9日（金） 18時 第4会議室
- (3) 第2回地域福祉部会 9月16日（金） 18時半 第3会議室
- (4) 第1回企画部会 ※日時・場所は部会長決定後に調整します
- (5) 第3回全体会 10月中旬頃

区民会議交流会について

日時：2月6日（月）18時～

場所：エポック中原

※詳細は後日あらためてお知らせいたします

配布資料目次

- P 1 第6期宮前区区民会議委員名簿
- P 2 第6期審議スケジュール案
- P 3 専門部会構成
- P 4 審議テーマに関する整理
- P 5 第2回全体会の要点まとめ

第6期宮前区区民会議 委員名簿

氏名	新任／再任	役職	所属部会	分野・団体名
カワダ カズコ 川田 和子	再	委員長		①防災・地域交通 宮前区自主防災組織連絡協議会
アオヤギ カズミ 青柳 和美	再	副委員長	地域福祉部会	区長推薦
オイカド トシコ 老門 聰子	新			③子育て・教育 宮前区こども・子育てネットワーク会議
ナカザト フミオ 中里 文雄	再			③子育て・教育 宮前区民生委員・児童委員協議会
ツバキ マサミ 樺 雅美	新			③子育て・教育 宮前区地域教育会議
スナガワ テツオ 砂川 徹夫	新			⑤産業・まちの活力 宮前区商店街連合会
ナカムラ フサヨ 中村 布佐子	新			⑥文化・観光 宮前区文化協会
タキモト クミ 滝本 久美	再			⑧地域特性 みやまえ情報ラボ
オオクボ マサカツ 大久保 正克	新			公募
カサイ イクコ 葛西 育子	再			区長推薦
オダ イクコ 小田 育子	再			区長推薦
カゲヤマ イシロウ 影山 亥史郎	新	副委員長	地域活性部会	④自然・生活環境 グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
オイカド タイソウ 老門 泰三	新			②福祉・健康 社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
オオキ ジロウ 大木 次郎	再			②福祉・健康 宮前区スポーツ推進委員会
ヤマダ カツラ 山田 桂	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区）
クロサワ カツミ 黒澤 克實	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区）
タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎	再			⑧地域特性 宮前区まちづくり協議会
ヤマベ キヨミ 山部 清美	新			公募
アラカワ ヨウコ 荒川 洋子	新			公募
サトウ タカフサ 佐藤 貴房	新			公募

第6期宮前区区民会議の進行イメージ

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催	備考	
28	4		4/20 事前打ち合わせ会		
	5	地域課題の検討 テーマ分野・分類の絞り込み	5/20 第1回全体会	委嘱状交付 各委員から課題発表	
	6		6/13 第1回準備部会	委員からテーマ出し	
	7		7/14 第2回準備部会	専門部会構成案作成	
	8	専門部会発足 (仮称)で始動 各テーマの現状調査、目指すべき姿、理想像の確認	8/4 第2回全体会	専門部会立上げ	
	9		地域福祉部会① 地域活性部会① 地域福祉部会② 地域活性部会②	部会テーマの更なる 絞り込み	
	10	企画部会(1)			
	11	解決すべき課題の洗い出し、先進事例のサーチなど	第3回全体会		
	12		地域福祉部会③ 地域活性部会③ 地域福祉部会④ 地域活性部会④		
	29	1	フォーラムの企画・準備など	企画部会(2)	
		2		第4回全体会 地域福祉部会⑤ 地域活性部会⑤	
		3	区民会議フォーラム		
4		課題解決に資する取組提案の検討	地域福祉部会⑥ 地域活性部会⑥ 地域福祉部会⑦ 地域活性部会⑦		
5			企画部会(4)		
6			第5回全体会		
7		取組提案の試行と検証など	地域福祉部会⑧ 地域活性部会⑧		
8			地域福祉部会⑨ 地域活性部会⑨		
9		企画部会(5)			
10		第6回全体会			
11		地域福祉部会⑩ 地域活性部会⑩			
12		企画部会(6)			
1	第6期の総括	第7回全体会			
2		区長への提案			
3		企画部会(7)			
4	フォーラムの企画・準備	第8回全体会			
5		企画部会(8)			
6	区民会議フォーラム				

第6期宮前区区民会議 専門部会構成

専門部会 A

(仮称) 地域福祉 部会

ソフト、目標・未来像、人のつながり・支え合い

審議対象テーマの例

防災 防災意識	地域福祉 地域包括ケア	高齢者 高齢者支援	子育て 子育て支援・孫育て
世代間交流 世代間交流、場・人づくり	地域コミュニティ つながり強化	その他 テーマの継続	

部会メンバー：青柳委員、老門聰委員、大久保委員、小田委員、葛西委員、砂川委員、滝本委員、椿委員、中里委員、中村委員（10名）

専門部会 B

(仮称) 地域活性 部会

ハード、インフラ（都市基盤）、目的、情報、市民活動支援

審議対象テーマの例

交通 交通インフラ・不便解消	住環境 定住環境	魅力発信 愛着強化・魅力発信	産業振興 働く環境
緑・農 緑地保全・農業振興	その他 過去検証・中長期課題把握・対応		

部会メンバー：荒川委員、老門泰委員、大木委員、影山委員、黒澤委員、佐藤委員、田辺委員、山田委員、山部委員（9名）

■今後の進め方等について【確認事項】

- ※専門部会での調査審議で、各部会の軸となるテーマやターゲット等を今後絞り込んでいく。
- ※各部会の審議状況は、全体会で部会長（互選により選出）が報告し、質疑・意見交換する時間を持つ。
- ※過去の区民会議の討議内容や現在の区の施策や取組状況、その他調査審議の過程で委員が知りたいと望んだ情報については、事務局は都度可能なものを収集・提供・提示する。
- ※任期2年の終わりに、調査審議の成果として、区長へ「地域課題解決に資する提案」を提出する。

専門部会第1回・第2回：審議テーマに関する整理（事務局案）

目的①：審議の拡散を避け、限られた時間の中で、より有効な審議を図る

目的②：既存・これまでの取組や施策・活動等との重複を避け、より効果的な提案を行う

■**中心テーマ**…特に解決を図りたい、検討の中心に据えるテーマ

■**関連テーマ**…中心テーマに関連の深いテーマ、連携や取組による相乗効果を狙いたいテーマ

■**ターゲット**…特に課題解決や取組の対象となる世代や地域、資源など

■**宮前区の現状・特徴**…テーマを巡る現状や特徴（「宮前ならではの」があると良い）

■**既存の取組・活動**…区内の取組・活動や施策（事務局からも情報提供。行政・民間・市民）

■**事例・情報**…参考になりそうな事例や情報（イメージや欲しい情報でも可）

■**課題解決の方向性・イメージ**…理想像・目標（こんな取組、こんな地域が実現しているなど）

「あれもこれも」ではなく、ある程度取捨選択「あれかこれか」が必要。

第6期宮前区区民会議第2回会議 審議テーマに関する意見交換要約

1. (仮称) 地域福祉部会

①委員の意見

■考え方など

- ・ 核になるテーマとともに、それにリンクする「つながり」を捉えながら「地域福祉」を考えていく (大久保委員)
- ・ 地域住民相互のつながりが大切。どうしたらつながりができるか。 (中里委員)
- ・ 人のつながりを一つの宮前の魅力として発信。地域コミュニティ、防災、観光、子育てなどの中で (青柳副委員長)

■多世代交流・場づくり

- ・ お年寄りと子どもが交流できる場・子どもがもっと伸びやかに遊べる場づくり (老門(聰)委員)
- ・ 多世代が集まる自由な遊び場。問題を抱え込まず、他の人の知恵を学ぶ。他世代に対する目も交わりの中で肥えていく。 (滝本委員)
- ・ 伝統文化を小さいお子様・中高生に伝えていきたい。健康づくりの知識をうまく伝えたり、災害発生時の対応など話し合える場があると良い。 (中村委員)

■地域包括ケア・支え合い・助け合い

- ・ 子どもが伸び伸び育つ環境、地域のつながりで、自然に助け合うことが必要だ。親の介護をしている方も増えている。防災も同様。 (椿委員)
- ・ 地域包括ケアシステムの中で住民が取り組むべき互助と自助。互助はカフェやサポーター研修を幅広くやっていき、知ってもらうことによって、隣の人を思いやる心を育む。自助は公園体操の拡大など。 (老門(泰))

■防災

- ・ 宮前区独自の「防災かるた」。 (小田委員)
- ・ 日常の中で防災について話し合い、防災意識を共有する機会づくり (滝本委員)

■高齢者福祉

- ・ 「高齢者110番」。「子ども110番」の高齢者版。今朝の朝日新聞朝刊に掲載された「みやまえ子育て応援だん」も参考に。 (小田委員)
- ・ 生涯現役でいられるようなシニアの活性化システム。 (荒川委員・他部会)

②事務局コメント ※以下全て、松浦・地域みまもり支援センター担当部長

- 活発な活動をつなぎ、必要としている方々に紹介することで、つながる人や参加する人を増やしていく。活動が無い地域には新たなカフェや居場所づくりを支援。
- 活動グループの見える化、ホームページへの掲載やマップ化を検討中。先月から地区担当保健師を各地区に設置。
- 個別支援の強化にも取り組み中。川崎市の地域包括ケアシステムは子どもから高齢者まで全ての方が対象。
- 7月に、聖マリアンナ医科大学、田園調布学園大学と包括協定を締結し、福祉や医療、地域づくりに協力して取り組んでいく。医療・福祉に関する意識調査から始める予定。
- 稗原ゆ〜ずや土橋カフェなど、地域に密着した活動を拡げていくためのワークショップの開催なども検討中。

③参与コメント

- ・ 防災の問題、これから大事だ。議員も何かできないかということで、話し合っている。（渡辺参与）
- ・ 防災も、日ごろの付き合い、顔見知りはどうやって増やしていくか。稗原小学校の防災キャンプは良い取り組みだ。PTA、おやじの会が中心になって、子どもたちなど400人が体育館に寝泊まりをして、その前後で防災訓練をしている。10年続いていおり、顔見知りが増え、地域のつながりがより強くなってきている。（矢沢参与）
- ・ 顔の見える関係が、安心、安全につながっていく。障害を持っていても、また年を重ねても安心して、地域で住み暮らすことができる。地域の中で孤立した人をふやさないということが区にとって大きな課題と感じている。（佐々木参与）
- ・ 5期の「ほっとやすらぎステーション」「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」を使いながら地域の交流や魅力発信を考えるなど、過去の議論からある程度形になったものを使いながら、第6期がさらに発展させてはどうか。（佐々木参与）

2. (仮称) 地域活性部会

① 委員の意見

■ 考え方など

- ・ 若い世代との地域活性化。田園都市線周辺で人口が増えていく。(影山副委員長)

■ 交通

- ・ 交通不便の解消。アプローチが難しい問題だが、気になっている。アンケート結果で、宮前区は「住み続けたい」が低いそうだ。(影山副委員長)
- ・ バス路線改善等交通課題には地域の住民運動として盛り上げる方法が必要。長年まち協でも取り組んできたが、採算が合わないとなかなか実現しない。(田辺委員)
- ・ 散歩道の整備による健康づくり支援。障害の除去や休憩場所の増加。都筑区では万歩計を高齢者に配布し、歩数によって商品を出す取組例がある。(老門(泰)委員)
- ・ 宮前の弱点は地域格差。難しい問題だが、鷺沼の駅周辺の再開発に、地域格差を縮めるような提案を入れられないか。(山田委員)

■ 緑・農地の保全、農業振興

- ・ 緑の保全。宮前区は「緑がいい」と言われるが、高齢化や相続の問題で、何もしなければ減っていつてしまう。(影山副委員長)
- ・ 夢が育つ農地を守っていく。宮前区に来て緑の多さに驚き、農園活動にのめり込んだが、できる場所が減っている。農地面積が1番から2番の区になった。(荒川委員)
- ・ ファーマーズマーケットを区役所周辺に。人が集まるのではないか。宮前区の農産物には本当においしい。(荒川委員)
- ・ 農産物直売所も既存の取組がある。直売所マップをつくったり、年2回「農家巡りウォーキング」を開催している。学校教育との連携も進んでいる。(田辺委員)
- ・ 宮前平駅そばの安藤さんの農園も素晴らしいブランド・キウイフルーツを作っていたが、閉園になってしまった。(山田委員)

■ 魅力発信

- ・ 愛着強化を軸に捉えた魅力発信。寝に帰ってくるだけで、地域の魅力を知らない人が多いと感じる。住宅ばかり増え、店が閉店するとまちの色が無くなる。地域の人が休日も宮前区内で楽しく過ごせるように。(佐藤委員)
- ・ 魅力発信のパンフレットは不要。既存の物がかなりある。(田辺委員)
- ・ 魅力発信と愛着強化を接着剤として人と人とのつながりを強化する。(中里委員)
- ・ パンフレットはいっぱいあるが、それがどこにあるか知られていない。(山部委員)

■ 商店街振興・産業振興

- ・ 区内にある24商店会が衰退。連合会加入商店会は6つにまで減った。(田辺委員)
- ・ ソフト産業。地域活性化の一つの核になるのではないか。若い人の活動環境を整える

のも一つ。(山田委員)

- ・ 区内にはユニークな会社もいっぱいある。菅生のシーボン化粧品は、六本木から緑に惚れて宮前区に移転してきた。(山部委員)

■過去検証

- ・ 「過去検証」。提案されたが実施されなかったもの、途中でダメになったものなどの検証。行政が頑張っても、担い手が見つからなかったことなどもある。(田辺委員)
- ・ 過去の問題を整理した上で地域活性化の問題を取り上げる。(山田委員)

②事務局コメント

- ・ 過去提案検証も必要だが、メインテーマにはもったいない。例えば「みやまえカルタ」は現在も買って下さる区民の方々がいる。続けやすい事業と継続が難しい事業がある。区役所のほうからも一度資料にしてお示ししたい。(区長)

③参与コメント

- ・ 有馬・東有馬地区でのコミュニティバスも採算性の問題で実現しなかった。市民が頑張ってもできない部分は、行政が支える。地域交通は皆さんで頑張りたい(織田参与)
- ・ 8月から社会実験で向ヶ丘遊園→たまプラーザのバスが、日中走行している。ぜひ皆さんに乗っていただきたい。(渡辺参与)
- ・ 川崎市と東急電鉄が協議体をつくり、現在構想づくりが進められている鷺沼駅前再整備では新しいバスベイをつくる案も出ている。(織田参与)
- ・ 横浜市営地下鉄の延伸。あざみ野→新百合ヶ丘で着手の話が出ているが、川崎市内のルートについてはこれから専門的に検討していくことになる。聖マリを通ることが決まったという話も流れたが、決定ではなく、これからだ。(矢沢参与)
- ・ 宮前区内での交通不便地域はなくしていこう、その中で、交通のハブの一つは鷺沼駅という方向性が確認されたと認識している。(織田参与)
- ・ 川崎市の農地は1985年の1200haから、現在は半分以下に減ってしまった。宮前区の特徴である緑をどうやって守っていくかは良いテーマになりうる。(矢沢参与)
- ・ 交通ネックになっていた清水台→たまプラーザの擁壁は、ようやく用地買収の目途が立ち、これから5年間で再整備する計画がある。(織田参与・矢沢参与)
- ・ 三浦半島・小網代の森を視察した。京急による開発が、絶滅危惧種や素晴らしい森林保護のために、県が介入して計画変更となり、散策路など自然が残る形で整備された。区内の自然資源も地域として守っていく方法、利活用が検討課題かと思う。(持田参与)